

【大洗町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（令和3年1月）等を踏まえ、大洗町では「新たな事へチャレンジできる 大洗っ子の育成」を目指す。具体的には、1人1台端末・クラウドツールなどを活用し、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて、いつでもどこでも学ぶことができ、多様な学び且つ主体的・対話的で深い学びができる環境の中、様々な活動を通して、探求心を持ち続け、自らが自分の将来のために新たな事へチャレンジできる児童生徒の育成を目指す。

2. GIGA第1期の総括

大洗町では、これまで1人1台端末の整備と共に、校内などの通信ネットワークの整備を進めてきた。また、ICT支援員の助言の下授業での活用も徐々に進んできており、児童生徒同士で意見交換を行い、問題解決に取り組むといったことも行われている。一方で、教職員のICTを活用した指導する能力については、教職員の意識・スキルといった面で学校内又は学校間での格差がある。今後、より一層1人1台端末の利活用を進めていくには端末、通信ネットワークや周辺環境等の整備に加え、教職員のICTを活用した指導力の向上が求められると考えている。また、情報モラルに関する知識と理解の向上が今後の課題であると考えており、今後児童生徒及び保護者を対象とした外部講師による研修会などを実施していく。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくにあたり、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していくと共に、1人1台端末の利活用方策として以下について検討していく。

（1）1人1台端末の積極的な活用

児童生徒同士での協働による探求型学習へ積極的に活用することで、双方向で意思の疎通を図り、対話による多様な価値観の共有を図る。

また、授業での積極的活用を進める為、教職員向けの研修や情報担当教職員内での情報共有の場を作り、教職員のICT指導能力の向上を目指す。

（２）個別最適・協働的な学びの充実

学校ごとの実情に応じた学習ソフトの導入を推進し、かつ町内全ての学校で使用出来る授業支援ソフト等を利用することで、個別最適・協働的な学びの充実に向けて取り組みを進めていく。

発達段階に応じ、１人１台端末を活用し、児童生徒が調べる、まとめる、発表・表現する等の個に応じた深い探求学習の実現を目指す。

（３）学びの保障

端末の故障や破損に備えて、予備機の運用及び速やかな修繕を実施する体制を構築し、学びが途絶えることの無い環境を整える。

またGIGA第２期では、授業での端末の活用に加え、不登校児童生徒の支援や心の健康観察の活用等、端末を活用した学びの保障に係る対応を検討する。